



「千葉県ビオトープ推進マニュアル」と「ビオトープ事例集」の発刊

生物の生息空間(ビオトープ)を確保した地域づくりを支援するため、14年3月に、ビオトープ整備・管理の基本的な考え方や留意点などを解説した「ビオトープ推進マニュアル」と県内の先行事例を集めた「ビオトープ事例集」を作成、発刊しました。今後は、「600万人で 守ろう！つくろう！ 生き物たちの楽園」をキャッチフレーズとして、その活用を多くの県民へ普及し、地域の生物多様性が向上することを目指しています。



行徳野鳥観察舎

行徳近郊緑地特別保全地区内にあります。傷病鳥の収容・回復訓練施設が併設され、野鳥観察のみならず、野鳥保護・自然環境保護の普及啓発活動に利用されています。



自然体験

(いすみ環境と文化のさと)

かつてはどこでもあった身近な自然やその中で育まれた郷土の文化とふれあい、学ぶことができる施設です。自然観察、田植え、いも掘り、わら細工づくりなどを体験できます。





水生生物による水質調査

カゲロウ、サワガニなど川にすむ水生生物を指標として、水質の調査（生き物を目安に、水のきれいさを調べる調査）を県民のみなさんに実施していただいています。

写真は、小名木川、小櫃川での調査の様子です。



地盤沈下状況調査

県内各地に地盤沈下観測井を設置し、地下水位の状況や地層の収縮量を測定し、地盤沈下の状況を把握しています。

手賀沼環境教室

手賀沼の自然を通して、広く環境問題に対する意識の高揚を図ることを目的に開催しました。





不法投棄現場立入調査

産業廃棄物監視職員が機動的かつ広域的な監視パトロールを行い不法投棄の未然防止を図るとともに、原状回復に向けた各種取組みを行うため、不法投棄現場への立入調査(写真)を行います。

産業廃棄物収集運搬車両 一斉路上調査

広域・悪質・巧妙化している産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理を未然に防止するため、産業廃棄物収集運搬車両の一斉路上調査(写真)を実施しました。同時にディーゼル条例に基づく運行規制の適合状況の確認を併せて行いました。



ダイオキシン類分析室 (環境研究センター)

センター内に「ダイオキシン類等分析施設」があり、大気・水質・土壌・廃棄物など、環境中のダイオキシン類を分析しています。

写真は、ガスクロマトグラフ質量分析計で分析しているところ。



エコメッセちば2003

「エコメッセちば」は、持続可能な社会を目指して、市民・企業・行政の各主体が対等なパートナーシップのもとに協働して開催する環境活動見本市です。

平成15年11月9日海浜幕張駅北口広場にて開催されました。



環境シンポジウム2003 千葉会議

15年10月4～5日、市民・企業・行政・大学の4者が連携して環境学習や環境保全活動を推進するために開催され、全体会と8つの分科会を通して、活発な話し合いと交流が行われました。

写真は、8つの分科会の活動内容を事前に紹介している様子。

NPOによる環境講座

県では、環境学習を専門とするNPOに講座の実施を委託する事業を行っています。写真は、委託先のNPOの1つ「ちば環境情報センター」が実施したカヌー体験で学ぶ講座。



(写真提供：NPOちば環境情報センター)